

## 教 育 委 員 会 会 議 次 第

令和3年4月22日（木） 15:00

子ども図書館 2階 大研修室

### 1 開 会

### 2 案 件

#### (1) 議案

議案第4号「北九州市立松本清張記念館規則の一部改正について」

(市民文化スポーツ局 松本清張記念館 事務局長)

議案第5号「北九州市教育支援委員会の委員の委嘱又は任命について」

(特別支援教育相談センター所長)

#### (2) その他報告

その他報告①「令和3年2月北九州市議会定例会の概要について」

(総務課長)

その他報告②「学校規模適正化について」

(学校規模適正化担当課長)

### 3 閉 会

教 育 委 員 会 （ 定 例 会 ）

- |   |       |   |
|---|-------|---|
| 1 | 開催年月日 | 令和3年4月22日（木）  |
| 2 | 開催時間  | 15:00～16:20   |
| 3 | 開催場所  | 子ども図書館 2階 大研修室  |
| 4 | 出席者   | (教育長) 田島 裕美<br>(教育委員) シヤルマ 直美 平野 氏貞 大坪 靖直<br>津田 恵次郎 竹本 真実   |
| 5 | 事務局職員 | 教育次長 古小路 忠生<br>総務部長 小杉 繁樹<br>教職員部長 高松 淳子<br>学校支援部長 春日 伸一<br>学校教育部長 高橋 英樹<br>次世代教育推進部長 金子 二康<br>総務課長 田中 真徳<br>企画調整課長 浜崎 善則<br>学校規模適正化担当課長 松本 聡<br>教職員課長 立花 昭一<br>学事課長 久保 慶司<br>学校保健課長 角野 純二<br>施設課長 太田 敦<br>指導企画課長 奥村 和美<br>学校経営・教育指導課長 澤村 宏志<br>教育振興担当課長 竹永 政則<br>生徒指導・教育相談課長 中溝 直樹<br>教育相談連携担当課長 有田 勝彦<br>特別支援教育課長 小西 友康<br>特別支援教育相談センター所長 徳永 勝恵<br>授業づくり支援企画課長 南里 幸一<br>教育情報化推進課長 赤瀬 正信<br>子ども図書館長 河村 信孝<br>市民文化センター 松本清張記念館 事務局長 足立 守行 |
| 6 | 書記    | 総務課庶務係長 増田 真二<br>総務課 事柴 佑斗  |
| 7 | 会議の次第 | 別紙のとおり  |

## 教育委員会(定例会)会議録(令和3年4月22日)

### 1 開 会

15:00 田島教育長が開会を宣言

### 2 会議録署名委員の指名

田島教育長が会議録署名委員に、大坪委員と竹本委員を指名。

以下の案件を非公開にすることを議決

- ・その他報告②「学校規模適正化について」

### 3 案 件

#### (1) 公開案件

議案第4号「北九州市立松本清張記念館規則の一部改正について」

本議案の提案理由を市民文化スポーツ局松本清張記念館事務局長が説明。

[提案理由要旨]

北九州市立松本清張記念館規則について、一部改正を行うもの。

平野委員／この施設が開館した際に、他の施設と違い、このような休館設定、開館設定をした理由をお聞きしたい。

また、今回の改正は、コロナ禍の影響による臨時的な対応なのか、それとも、別の理由があつてのものなのか、併せてお聞きしたい。

松本清張記念館事務局長／開館した当初は、この松本清張記念館は、観光施設としての位置付けであり、小倉城と休館日を合わせる観点からも、このような設定を行った。図書館や美術館などは月曜日の休館としているが、位置付けが違っていたため、休館日が違っていったものである。

今回の改正についてだが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点もあるが、実際の来館者の統計などを見ると月曜日の来館者が、当初想定していた規模感に比べて少ないことがわかったため、この2つを理由として改正を行おうとするものである。

## 原 案 可 決

議案第5号「北九州市教育支援委員会の委員の委嘱又は任命について」

本議案の提案理由を特別支援教育相談センター所長が説明。

[提案理由要旨]

北九州市教育支援委員会委員について、委員の辞任に伴い、新たに後任の委員を委嘱又は任命するもの。

津田委員／今回の委員について、医師、小児科医が1名増え、耳鼻科医が1人減っている。

委員の変更については、それぞれ、専門分野の方が関わっているわけだが、この福祉関係については、すでに小児科医がいるが、1人減り、小児科医が2人増えている。

様々な事情があつてのことだと思うが、このような委員構成となった理由について説明いただきたい。

特別支援教育相談センター所長／就学相談について、審議しなければならない項目が、複雑化、多様化している実情があり、医師の支援について強化すべきと考え、このような委員構成となったところである。

シャルマ委員／専門の科の記載がない数名の医師について、専門の科を教えてください。

特別支援教育相談センター所長／原田氏と向野氏は精神科、友納氏は小児科と精神科医の資格をお持ちであり、どちらの観点からも委員に就任いただいている。

下野氏と鳥越氏は、個別具体の専門ではなく、総合的な意見をいただく立場から委員に就任いただいているが、その中でも主な分野としては、下野氏は小児科、鳥越氏が整形を中心に、それぞれあたっていただくこととなっている。

シャルマ委員／精神科の先生の割合が、医師の数からして高い。それは、自閉症・情緒の特別支援学級、心身症の部門などの就学相談の件数が増えているからではないかと思う。この委員名簿とは別の話になるが、就学相談の実態、現状を教えてください。

特別支援教育課長／精神科の医師に、多く委員に就任いただく理由としては、シャルマ委員のご指摘のとおり、近年、自閉症・情緒障害の特別支援学級への就学を希望するケースが非常に多いからである。

通常的面談は、平日に行われている。自閉症・情緒障害の特別支援学級に就学するためには、医師の診断が必要となるが、医師の面談や診察は日曜日に行い、今年度は5回ほど行ったと記憶している。

大坪委員／教育支援委員会と、実際に子どもたちの状態を判定する判定専門部員について、このどちらともを兼ねている方はいるのか。

特別支援教育相談センター所長／それぞれの委員の役割は違っており、この2つを兼ねている方はいない。

津田委員／就学相談は、だいたい2、3ヶ月程度の時間がかかると聞いている。

その理由は、近年、相談の数が増え、相談内容も複雑化していることだと思うが、昨年からコロナ禍の影響によりさらに大変になっていると推察されるが、現状を教えてください。

特別支援教育相談センター所長／相談件数等も年々増加し、できる限り迅速に対応できるよう、方法などを模索しているところである。

例えば、「相談申し込みの電子申請化」や「来所など直接会って相談する機会を最低限の回数とする」などである。

平野委員／委員の男女比率について、確認したい。

昨年度は3分の2が女性だった。今年度は、さらに女性が増え4分の3という比率だ。

これについて、例えば、「支援員の仕事が女性のほうが向いている」などといった、女性が増えてきている理由などがあれば教えてください。

特別支援教育相談センター所長／確かに今年、女性登用率が75%と上がっているが、「女性が適している」などということはないと考えている。

委員については、医師会などからの推薦により就任していただくことも多いが、あくまで、結果的に女性が増えているだけではないかと考えられる。

## 原 案 可 決

その他報告①「令和3年2月北九州市議会定例会の概要について」

本議案の提案理由を総務課長が説明。

[提案理由要旨]

令和3年2月北九州市議会定例会の概要について、報告するもの。

シャルマ委員／資料45ページの「校則」に関する質問についてだが、本市の市立学校の校則の中で、見直す必要がある校則があるのか、お聞きしたい。

また、板櫃中学校の取り組みが示されているが、この他にも何かあれば、教えていただきたい。

生徒指導・教育相談課長／本市の校則の見直しについては、これまで教育委員会から学校へ、都度、見直しを行うよう指導を行ってきた。最近では、世の中の関心も高まっていることもあってか、大きく校則を変えようとする動きもあり、子どもたちや地域の状況を考慮しながら学校ごとに校則の見直しを行ってきたところである。

しかし、まだまだ見直しが必要な校則も見られることから、昨年3月に、各学校に対して、時代の流れに沿ったもの、また、子ども、PTA、保護者等の意見も踏まえた校則になる見直しを行うよう、通知文を改めて出したところである。

板櫃中の取り組み以外の例だが、現状把握はしていない。

校長会の中で、生徒指導を担当する部会があるため、その中でも、今後の校則について、見直しを行うなどしていきたい。

## 報 告 終 了

### (2) 非公開案件

その他報告②「学校規模適正化について」

学校規模適正化担当課長が報告。

[報告要旨]以下の項目について報告。

学校規模適正化について、報告を行うもの。

大坪委員／この資料について、事務局案とされているが、項目にある評価結果については、「統合準備委員会にて議論された結果、この資料にあるような評価となった」という理解でよいのか。

学校規模適正化担当課長／そのとおりである。

例えば資料にあるように、「緊急施設までの距離や学校までの緊急車両侵入のしやすさ」については、災害時のハザードマップの観点で協議されている。「学校までの緊急車両侵入のしやすさ」は、それぞれ人の感覚の違いもあるため、必ずしも一致ということではないが、基本的には、統合準備委員の中でも同じ認識を持っていたようである。

今回の事務局案を作成するにあたり、統合準備委員会での意見について、資料の3ページの表にあるとおり、教育委員会内の検討グループにて検討を行っている。これは、教育委員会内だけでなく危機管理室などの関係部局の課長で構成されており、それぞれの立場から統合準備委員会の意見について、協議を行うものである。その検討グループにて、検討を行った結果を今回の事務局案としている。

シャルマ委員／各学校の築年数を再度確認したい。

施設課長／修多羅小学校が昭和51年建築のため、築44年である。古前小学校は、昭和46年の建築のため、築49年である。昭和46年頃から50年代頃までの高度成長時代に建築したものであり、やはりどちらも同じように老朽化している。

報 告 終 了

#### 4 閉 会

16:20 田島教育長が閉会を宣言